

ロンドン、2018年4月3日

中国の河南亚新鋼鉄向け新型電気炉 EAF Quantum2 基を受注

- 新型電気炉の出鋼量は最大 120 トン
- 新型電気炉 EAF Quantum でより環境に適合した製鋼へ
- 溶鋼 1 トン当たりの電力消費量を大幅に低減
- 操業コストと CO2 排出の削減可能
- 溶解間隔の大幅な短縮化

プライメタルズテクノロジーズ (Primetals Technologies) は、中国の河南亚新鋼鉄集团有限公司 (Henan Yaxin Steel Group Co., Ltd. : 河南亚新) から、出鋼量各 120 トンの新型電気炉 EAF Quantum2 基を受注しました。新設される工場に納入される本電気炉により、既存の誘導炉での溶解と転炉での製鋼から、より環境に適合した電気製鋼プロセスになります。電気炉に必要な電力量は大幅に低減され、操業コストと CO2 排出がいずれも削減可能です。新型電気炉は 2019 年第 1 四半期に稼働する予定です。

河南亚新は、年間生産量約 1,000 万トン以上の民間企業で、中国の 5 つの省や市においてコンパクトな一貫製鋼プラントを運営しています。当社は、新型電気炉 2 基の主な機械・電気設備を供給し、残りの周辺設備およびサービスは、現地の設計機関により供給されます。

当社が開発した新型電気炉 EAF Quantum は、実績のあるシャフト炉と革新的なスクラップ装入プロセス、高効率予熱システム、新しい傾動方式を持つ下部容器、最適化された溶解システムを装備し、溶解間隔の大幅な短縮を実現します。従来の電気炉に比べ電力消費量が大幅に低減され、電極と酸素の消費量低減もあいまって、全体で約 20% の処理コストの低減ができます。全体の CO2 排出量も、従来の電気炉に比べて粗鋼 1 トン当たり最大 30% 削減できます。



プライメタルズテクノロジーズの新型電気炉 EAF Quantum

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Gerlinde Djumljia

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Reference number: PR2018041561jp

〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内

電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: www.primetals.com